

津別の物産が大集合

2023つべつ産業まつり

10月22日、さんさん館前広場で4年ぶりとなる「2023つべつ産業まつり」が開催され、多くの方が会場に訪れました。

山鳴太鼓保存会による和太鼓演奏で幕開けた催しは、いも・玉ねぎ詰め放題、お楽しみ抽選会、道の駅あいおい20周年記念として、津別出身歌手山本裕美子さんによる歌謡ステージなどのイベントや軒を連ねる飲食店の屋台に行列ができました。祭りの最後には餅まきが行われ、大いに賑わい、祭りを締めくくりました。



好天の下で健脚を競う

第21回つべつ紅葉マラソン大会

10月1日、快晴の空の下で「第21回つべつ紅葉マラソン大会」が開催されました。幼児からご年配の方まで、町内外250名を超えるランナーが、体力、経験に応じて3kmコース、5kmコース、10kmコースにエントリー。午前10時30分、スタートの合図とともに走り出したランナーたちは、各スタート地点から津別小学校グラウンドのゴールを目指しました。

ゴール後には参加者同士で健闘をたたえ合い、大会は大いに盛り上がりしました。



道の駅あいおい開業20周年！ 4年ぶりのつべつ産業まつり

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください

今年8月、開業20年を迎えた「道の駅あいおい」。なんと年間28万人が訪れる人気の道の駅です。大ヒットのクマヤキをはじめとしたグッズの数々や、手打ち蕎麦、伝統の製法で作られる豆腐、さらには季節の商品など、人気商品が盛り沢山。このヒットの裏に隠されたマネージャーの思いとは!? クマヤキをデザインした日本美術界の巨匠、大西重成さん（相生在住）が今考えることは? 週末にはクマヤキを求める行列ができるほど人気の道の駅に成長した、ワンダーランドあいおいの今をご紹介します。

さらに4年ぶりに開催されたつべつ産業まつりの模様もお届けします。



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信（月1回）することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、ウッドルーム（大通棟）、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ（映像看板）」でも視聴することができます。*タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄付金により制作しています。

毎月末日ごろ更新 《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

問い合わせ先 住民企画課 企画係 14番窓口 ☎77-8374



4年振りに高校生海外研修復活

津別町青少年海外研修派遣事業出発式・帰町式

10月3日、津別高校生の青少年海外研修派遣事業出発式が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響により4年間中止になっていましたが、今年は5名が参加し、10月9日から10日間ニュージーランドに滞在。10月23日には帰町式が行われました。



阿寒摩周国立公園編入を目指して

エコツーリズム推進事業キックオフイベントを開催

10月5日、標記イベントを開催。第1部では、和歌山県田辺市熊野ツーリズムビューロー会長の多田稔子氏から世界遺産熊野古道を例に持続可能な観光地について講演がありました。

第2部では、環境省釧路自然環境事務所の岡野隆宏所長をファシリテーターに、多田氏、上野森のこだま代表理事、町の迫田産業振興課長をパネリストとして、上里地区のエコツーリズムの可能性についてトークセッションを行い、エコツーリズムの理解を深めました。